



EVENT

イベントのお知らせ **3/5(土) 9:30~11:30**

4月から新一年生になる
お子さまを持つ保護者必見!

交通安全×プログラミング バッチリ解決セミナー

開催場所 **COMMUNE BASE マチノワ**
(小田急線町田駅より徒歩10分)

参加費 **無料・要予約**

交通安全の知識を学びながら、プログラミング言語Scratchを使い「交通安全ゲーム」を作成する**保護者向け体験型セミナー**を開催します。当日はプログラミング講師2名と交通安全講師として町田警察署と町田市市民生活安全課の職員が丁寧にお伝えします。保護者が押さえておきたい交通安全とプログラミングのポイントを楽しみながら学んでみませんか? Wi-Fi接続可能なノートパソコンをご持参の上ご参加ください。



こんな方におすすめです

- ✓ 安全な登下校のために親子で気を付けるポイントを知りたい!
- ✓ 子どもの登下校について、交通安全のプロから話を聞いてみたい!
- ✓ 小学校のプログラミング授業の雰囲気を知りたい!
- ✓ 子どもが小学校で学ぶプログラミングを実際に体験してみたい!

詳細・予約はこちらから
締め切り **2/25(金)**



PLACE

活動場所のお知らせ

備品貸し出しも
充実していると評判です!

町田市の市民センター・ コミュニティセンターを活用してみませんか?

団体の活動場所探しに困ったことはないですか?町田市には会議や学習などで利用できるセンターが13か所あります。会議室は**夜間まで借りられる施設も多く、料金も数百円からと使い勝手の良さが魅力**です。新年度に向けて打ち合わせをする機会が増える団体も多いと思いますので、ぜひご活用ください。



◀ 2021年5月22日にリニューアルオープンした玉川学園コミュニティセンター。140名収容の多目的ホールや多目的室(5室)を備えており、さまざまな活動に対応できます。

各市民センターには地域活動の相談担当職員が週に1回ご相談をお受けしています。「市役所の何課に相談したらいいかわからない」等、お気軽にお話しをしいらしてくださいね。

詳細はこちらから



地域おうえん
コーディネーター
地域活動相談担当職員



町田市地域活動
サポートオフィス

TAKE FREE

今月のコンテンツ

今号の中間ページでは、第15回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」(以下「まちカフェ!」)参加団体やイベントに参加して下さったみなさんからお寄せいただいた声から見えてきた成果や、次年度に生かす視点を特集しました。参加された方はもちろん、参加を検討されている方にもぜひお読みいただければと思います。



Now! | 助成金に関する説明会を実施しました。

団体活動を進める原動力の一つである「活動資金」。その獲得手段の一つとして助成金に関する説明会を2回実施しました。各回で助成プログラムの担当がお話くださった「申請のコツ」と共に、実施内容をレポートします。



2021年12/22(水) ベネッセこども基金説明会

公益財団法人ベネッセこども基金の担当者お二人にいらしていただき、町田市民フォーラムの会議室にて実施しました。説明会の前半では、助成金に関するプチ講座と助成担当者による公募内容・審査の視点の説明、後半は参加者による活動紹介や質疑応答等を行いました。市内で活動をされる方々から、自身の活動の特徴や助成団体にサポートしてほしい点などをお話いただき、活発な情報交換が行われる場となりました。



助成担当者が語る申請のコツ

助成金申請書には事業内容のみならず、その事業を通して明らかになった社会課題、その課題解決のための地域の仕組みづくりのプロセスなども記載するといいいアピールになりますよ。

参加者の声

- 助成金の説明だけでなく、説明会に参加していた市内で子ども関連の活動をする方たちと情報交換ができたことで、活動への士気が高まりました。
- 「申請書の書き方も大切だけど自分たちの活動テーマに合っている助成金をリサーチするのも大切」というお話が目から鱗でした。



ベネッセこども基金について → <https://benesse-kodomokikin.or.jp/>



2022年1/18(火) WAM助成説明会

独立行政法人福祉医療機構(WAM)が実施するWAM助成の説明会をオンラインで実施し、44名の方にご参加いただきました。前半はWAM助成担当者による公募内容・審査の視点の説明と全体の質疑応答、後半は助成担当者と1対1で相談ができる個別相談会を実施しました。「感染症拡大等により計画変更の可能性が高い場合は目標の設定はどのようにしたらいいか?」など、社会情勢を反映した質疑が多く寄せられたのが印象的でした。



助成担当者が語る申請のコツ

助成金申請の前に今一度立ち止まり、「自組織に今一番必要なのは本当にお金なのか」をメンバー全員で考えることも大切です。

参加者の声

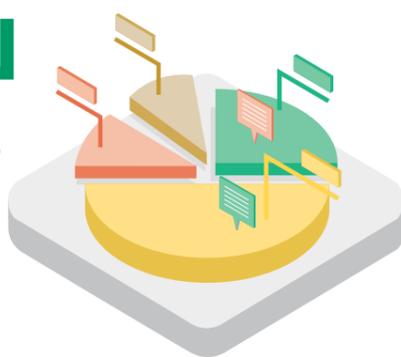
- とても丁寧な進行で、申請する事業者の立場に立っていただいているように感じました。他の出席者の方の質問も勉強になりました。
- 改めて「団体にとっての本当の資源とは何か?」を考えるきっかけになりました。



WAM助成とは → <https://www.wam.go.jp/hp/cat/wamjosei/>

データで振り返る「まちカフェ！」

コロナ下で制限がありながらも、工夫を重ねながら企画・運営を進めた「まちカフェ！」。今年も多くの出会いや交流、そしてたくさんのチャレンジが生まれました。ここからは実施概要と共に、参加団体を対象とした事後アンケートから見えてきた次年度につながる視点をご紹介します。



※参加団体アンケート：2021年12月17日～1月4日実施。参加団体81のうち、48団体が回答

DATA 01 「まちカフェ！」開催概要

市内で活動するNPO法人や市民活動団体、地域活動団体（町内会・自治会）などが、お互いの活動を知り交流を深めスキルアップをすること、参加した市民のみなさんが地域で活動するきっかけづくりの場になることを目的として開催している「まちカフェ！」。昨年度に引き続き、オンラインと市内各地での分散開催とし、期間中は40を超えるオンラインイベント・リアルイベントが開催されました。参加団体で構成されている「まちカフェ！」実行委員会（以下実行委員会）は、今年度も全てオンライン開催でしたが、互いに助け合ったり、共にイベントを企画・開催したりと、単に「交流」をするだけでなく「協働」する様子が多く見られたのが特徴的でした。

「まちカフェ！」協働ガイドブックに参加団体についての詳細を掲載しています。ぜひご覧ください。



データで見る「まちカフェ！」

開催日程：2021年11月27日～12月12日

参加団体数



オンラインイベント開催件数



リアルイベント開催件数



活動紹介動画制作・発表をした団体



DATA 02 学生おうえん隊×参加団体によるコラボレーション企画の実現

「まちカフェ！」学生おうえん隊とは、「NPOや地域団体と一緒に活動してみたい！」という学生と、「学生と一緒に活動してみたい、自団体の活動を学生に知ってもらいたい」という団体をマッチングする取り組みです。今年度は昨年度の2倍以上の学生と団体が参加。学生の力を借りながらオンラインイベントの開催や団体活動の紹介動画の作成等に挑戦した団体が多数ありました。

データで見る「まちカフェ！」



学生さんからのコメント

地域の方々と関わりながら、地域性や事業所の活動に触れたことは、貴重かつ有意義な機会になりました。団体の皆さんが誠実に社会と向き合う姿に、活力をいただきました。

受け入れ団体の方からのコメント

学生の皆さんの新しい視点とIT技術力で、今までなかなか着手できなかった活動紹介の動画作成に挑戦できました。自分たちの活動を客観的に見直すいい機会にもなりました。

実行委員会に参加された方の声

団体で初めてイベントの企画や実行をしたことで、今まで個々に活動していたメンバーの力を集結する機会になり、お互いに学びがありました。

協働ガイドブックの原稿の制作やイベントの企画を立てる中で、団体の今後の方針を話し合う機会が生まれたのが収穫でした。

イベント当日、他団体の方が手伝いに来てくださり、私たち運営メンバーも協働の意義をあらためて実感することができました。

DATA 03

「まちカフェ！」は、参加団体の交流・協力・協働の輪が広がる場

オンラインで実施した実行委員会では、参加団体の皆さんが活動に関する課題や「まちカフェ！」でやってみたいことを共有し、話し合いを重ねてきました。その中で、今年度は地域に仲間や居場所を作るきっかけづくりを目的とした〈オトパンまちだ〉と広く一般の方へ地域活動の魅力を伝える場として〈「まちカフェ！」マルシェ〉の開催を決定。約半年の準備期間を経て、団体の枠を超えた協働プロジェクトを実施することができました。

協働事業事例のご紹介

こんな取り組みを実施しました！

オトパンまちだ

参加団体数 8 団体

開催目的 仕事や家事等がひと段落した方を対象に地域に居場所や仲間を作るきっかけづくり

「オトパ」とは、「お父さん・お母さん・ともにおかえりなさいパーティ」の略。シニア層の会員が多く所属している団体の皆さんが、新しい世代に地域活動の魅力を伝えたいという想いからこのプロジェクトが立ち上がりました。当日は満員御礼のにぎやかな会場の中、講演会や趣向を凝らした活動発表会を実施。参加者から「町田にこんなにも活発な地域活動団体があると初めて知った」、「説明してくれた団体のイベントに出てみようと思う」等の声が多数寄せられました。



「まちカフェ！」マルシェ

参加団体数 15 団体

開催目的 地域活動の醍醐味やその魅力を多くの方に伝え交流する場となる

商品の販売だけではなく、ワークショップや相談・体験ブースなどが用意された「まちカフェ！」マルシェ。ぼっぼ町田で開催したこともあり、今まで地域活動に出会う機会がなかった方も足を運んでくださいました。マルシェ出店団体同士の交流も盛んに行われ、活気あふれる1日となりました。出店団体の皆さんからは「マルシェ開催をしたいと思いますけど、その練習にもなった!」、「普段出会えないようなお客様に団体の紹介ができて良かった」といった感想が出ていました。



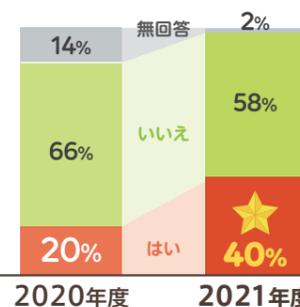
「まちカフェ！」では、協働を「共通の目的を実現するために、お互いの強み（資源）を持ち寄り、力を合わせて共に活動をすすめること」と定義しています。

データで見る「まちカフェ！」

Q 「まちカフェ！」参加を機に、初めて知った団体はありましたか？



Q 「まちカフェ！」をきっかけに協働事業が生まれましたか？



Q 「まちカフェ！」に参加した他団体と今後協働してみたいですか？



「まちカフェ！」イベントに参加された方の声

（玉川大学太田ゼミ主催「若者目線で防災を語ろう～防災意識を高めよう!」に参加された方の感想）
イベントに参加して防災に対する意識が薄れていたことに気づきました。スムーズな進行で、充実した2時間でした。

エンディングセンター主催「今日から始めよう!デジタル終活術」に参加された方の感想
デジタル遺品についてなど、今まで知らなかったことを学べる機会になりました。大変参考になるイベントに参加できてよかったです。